

【鴨部】

畠寺 はたでら



牛馬の信仰にちなみ、本堂屋根には牛や馬の飾り瓦が見られる。



元禄14年(1701)に再建された光林寺本堂。



天和3年(1682)に修理された仁王門
昭和55年(1980)に茅葺きから瓦葺きに改修した。



鎌倉後期に造られた宝篋印塔。
県指定の文化財となっている。



参道はきれいに掃除されている。



檣原山
↓



正式には「高野山真言宗庵尼山宝塔院光林寺」で、ご本尊は不動明王。大宝元年(701)に文武天皇の勅願により、徳藏上人によって開山されたと伝わる。大同元年(806)、唐より帰国途中の空海が檣原山に登り、修法(密教の修行)された際に光林寺へ密教を传授した。それ以来、光林寺は真言宗になつたと伝わる。

中世の仏画を多数所蔵し、鎌倉時代の絹本着色稚児大師像と石造宝篋印塔は県指定文化財である。

檣原山と密接な関係にあり、南北朝の長慶天皇伝説にちなみむ石造宝

塔を平成22年5月に建立した。
また、各時代を通じて地元領主の信仰が篤く、河野牛福(こうふく)・村上(むらかみ)・武吉(たけよし)・福島正則(ふくしままさのり)・藤堂高吉(とうどうたかよし)・今治藩主松平氏(まつだいらうゆき)らの書状を有する。

〒794-0116
愛媛県今治市玉川町畠寺甲530
電話(0898)55-2438

光林寺の裏山にあり、大宝元年(701)に白山権現として創祀された。光林寺も同年に開基している。広大な敷地内には巨木や多くの植物がある。

(22) 白山神社 はくさん